測量作業のお知らせ

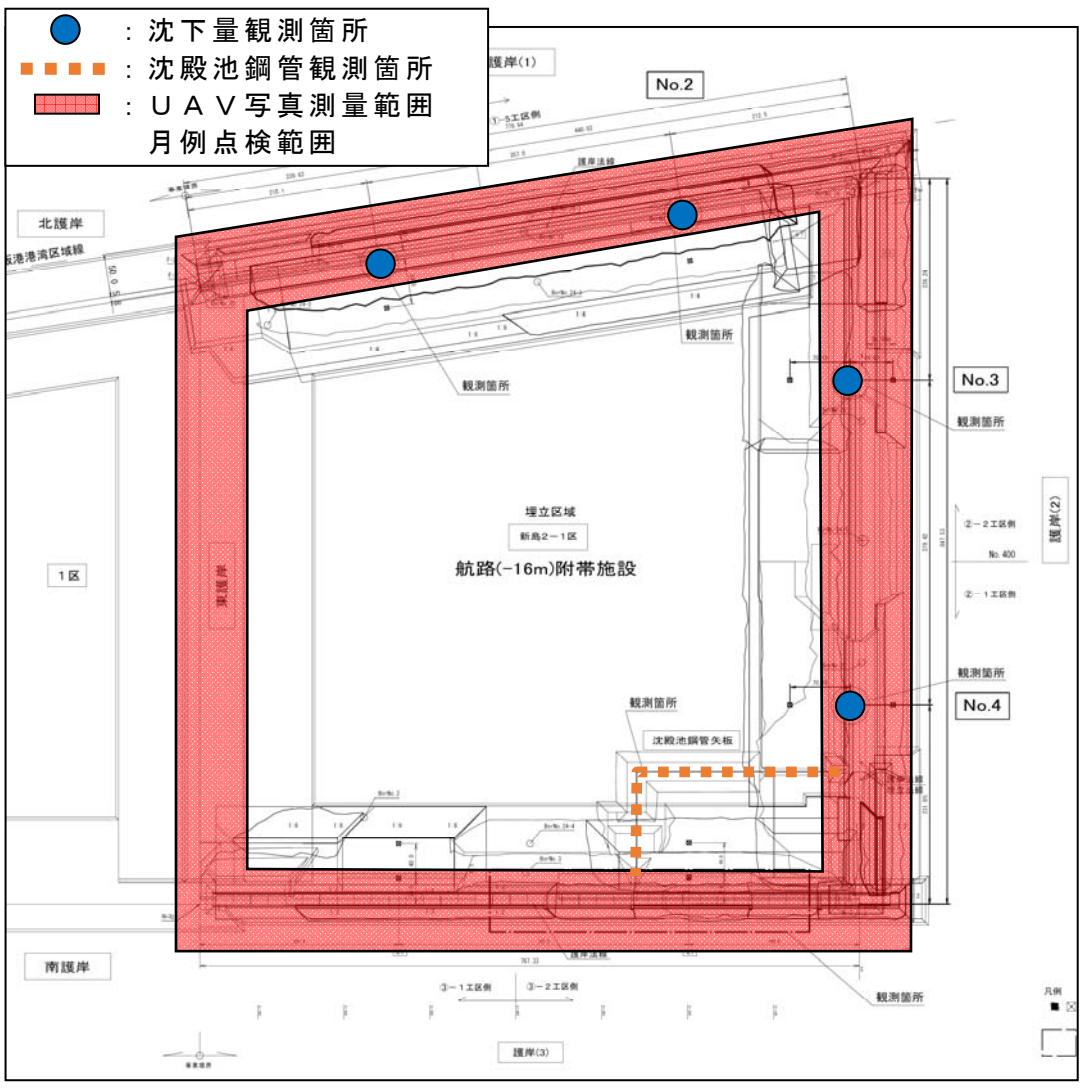
発　注　者：国土交通省近畿地方整備局大阪港湾・空港整備事務所
電話：０６－６５７４－８５６２
受　注　者：三洋テクノマリン株式会社 大阪支社
（住所：大阪府吹田市江の木町20-12）
電話：０６－６１５５－５１０７
管理技術者：三洋テクノマリン株式会社　奥村　邦明
携帯電話：０９０－２２８５－４４５７
現場責任者（正）門谷　綱祐　携帯電話：０８０－１３４１－３２３７
現場責任者（副）橋本　幸治　携帯電話：０９０－８９１９－４９３８
現場責任者（副）森　一郎　携帯電話：０９０－４６４５－６５５７

◆本業務は、大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸築造に伴う動態観測を行うものです。

（業務名称：大阪港北港南地区航路（-16m）附帯施設動態観測業務）

１．期　　間　：令和６年４月下旬から令和７年３月１９日
２．時　　間　：日の出から日没まで
３．場　　所　：阪神港 大阪区 第６区（新島区域内）（図－１参照）
４．作業内容　：
- 沈下量観測は、RTK-GNSSを南港南防波堤（固定局）と沈下板（移動局）にセットして補正データを受信し、各沈下板を観測します。（作業頻度：1回/月）
- 沈殿池鋼管観測は、沈殿池の鋼管矢板天端部をRTK-GNSSにて観測します。観測箇所への移動は、船外機船を使用します。（作業頻度：2回/年）
- UAV写真測量は、各護岸をUAVにて写真撮影し測量を行います。（作業頻度：2回/年）
- 月例点検は、各護岸上を踏査し、施設全体の目視可能な範囲について、施設の顕著な変状（沈下・陥没、ずれ・段差等）の状況を目視にて確認します。また、UAVにて施設の動画撮影を行います。（作業頻度：1回/月）

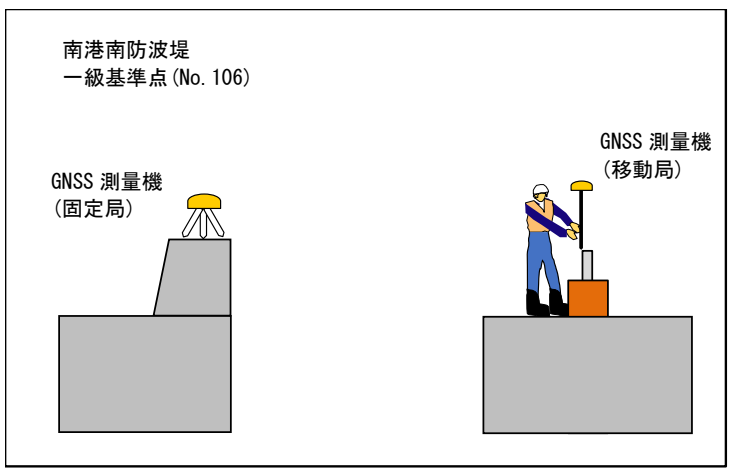
５．安全対策　：作業員は救命胴衣、ヘルメット等の保護具を着用します。海上移動時は、周辺監視を徹底し、航行船舶に対し交通船が早期に回避する衝突事故防止体制をとります。



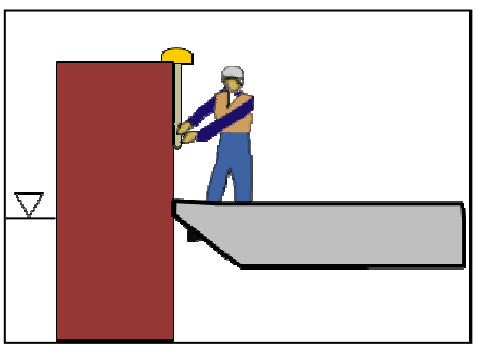
図－１　調査場所

表－１　工程表

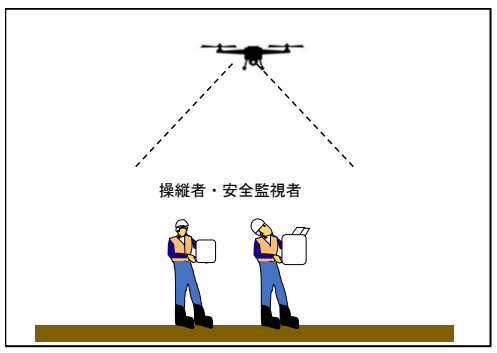
観 測 項 目	令和6年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年 1月	2月	3月	回数・頻度
1. 観測準備	■												
2. 沈下量観測	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	12回（1回/月）
3. 沈殿池鋼管観測				■						■			2回（1回/6か月）
4. ＵＡＶ写真測量				■						■			2回（1回/6か月）
5. 月例点検	■	■	■	■		■	■	■	■	■	■	■	12回（1回/月）



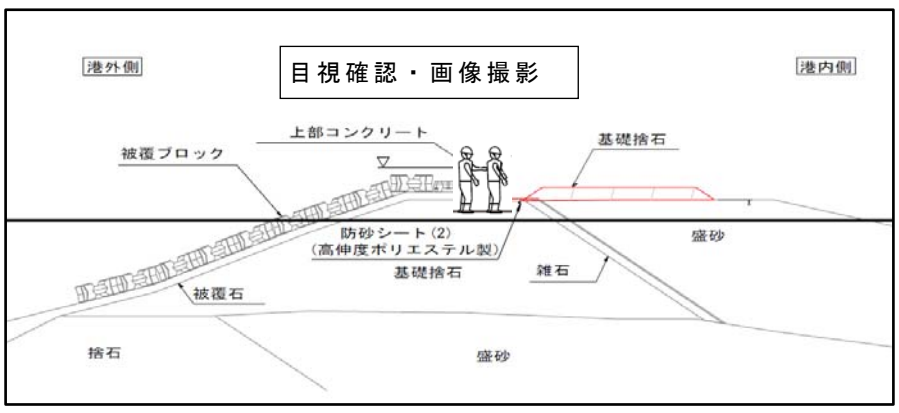
図－２　沈下量観測



図－３　沈殿池鋼管観測



図－４　UAV 写真測量/月例点検



図－５　月例点検